

# (1) 桑名宿-A

(桑名市船馬町～安永)



**11 京橋**  
このあたりは桑名城の外堀にあたり、街道は升形に曲がっていた。京橋は明治初年にかけられたもの。



**9 石造道標**  
桑名市博物館前にある。「左 江戸道」「右 京いせ道」と刻まれている。



**13 廣房刃物店**  
鍛冶町にはその名の通り、多くの鍛冶屋が住んでいた。『妖刀』として知られる『村正』も桑名で打ち出されたもの。



**12 石市**  
江戸時代からの石屋。他にも石長などがあつた。



**14 教宗寺**  
浄土真宗本願寺派。現本堂は愛知県八開村より移築した。



**15 光明寺**  
江戸時代街道に面して山門があつた。七里の渡船が遭難した際に亡くなった旅人の供養碑が残る。



**16 法盛寺**  
西本願寺別院。江戸時代には休泊を引き受けた。



**7 春日神社**  
桑名の産土神。毎年8月に行われる石取祭は桑名最大の年中行事。



**6 しるべ石**  
青銅鳥居の横にある。「志るべいし」「おしゆるかた」「たづぬるかた」と刻まれている。行方不明の人を探すための伝言板で、現存しているものは珍しい。明治18年建立。

桑名駅

この部分は7ページをご覧ください

桑名市役所



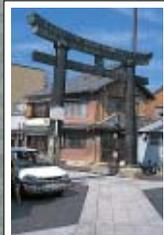
**10 毘沙門堂**  
慶長年間の町割の頃に福王山に移されたが、再び現在の地に戻された。



**2 歌行燈の句碑**  
料亭船津屋の塀の外側にある。泉鏡花の「歌行燈」を戯曲化した久保田万太郎の句「かわをそに火をぬすまれてあげやすき」が刻まれている。



**3 北大手橋**  
城下から桑名城への出入口。升形が残る。



**5 青銅鳥居**  
寛文7年(1667年)金250両を出して作られたもの。「勢州桑名に過ぎたるものは銅の鳥居に二朱女郎」と謳われた。桑名の代表的産業である鋳物産業のシンボリック的存在。



**1 七里の渡し跡**  
尾張の宮の宿より海路七里の渡しがあつた。伊勢湾台風後に作られた防波堤により、当時の面影は余り残っていない。天明年間(1791~89)に建てられた伊勢神宮一の鳥居や、安政3年(1856)と刻まれた常夜灯がある。

街道はなくなっている

勤労青少年ホーム

入江葭町と新町の境のあたりで微妙に曲がる

日進小学校  
日進幼稚園



**8 南大手橋**  
かつての桑名城への出入口。現在の橋は、元の位置よりやや南。



**4 通り井の跡**  
江戸時代の水道井戸の跡。道の真ん中に「井」と書かれた石が埋め込まれている。

桑名城跡

地図内凡例

- 道標類
- 常夜灯
- 神社仏閣
- 地藏類
- その他
- まちがえやすい分かれ道
- バス停

# (1) 桑名宿-B (桑名市船馬町～安永)



28 立坂神社石造鳥居  
初代藩主本多忠勝によって創建された矢田八幡社が前身。



25 教覚寺  
浄土真宗本願寺派。中世地頭職二階堂氏が開基という。



26 善西寺  
浄土真宗本願寺派。もとは走井山のふもとにあった。



29 矢田立場  
江戸時代、街道などで入夫が駕籠などを留めて休憩した場所。火の見櫓等が復元されている。



27 連子格子の家  
このあたりは戦災を受けなかったため、古い建物が残る。馬をつないだ鉄環が残る所もある。



31 了順寺  
浄土真宗本願寺派。山門は桑名城の遺物と伝えられる。



町なみ  
鋳物師が居住したため鍋屋町と称した。現在もつり鐘などを鋳造する鋳造所がある。店の前に釣り鐘を置いている店もある。



23 一目連神社  
一目連は金属工業の神様で、桑名が鋳物の町であることにちなみ、約150年ほど前に勧請された。



24 明円寺  
浄土真宗大谷派。門前に水準点がある。



30 神戸岡神社  
元は、街道の左（東側）にあった。明治29年に立坂神社に合祀され、昭和35年に現在の場所に移された。

近鉄益生駅

近鉄古田風線  
近鉄関西本線

矢田立場の  
あるT字  
路を左へ



桑名駅

立場  
宿駅と宿駅の間や景色の良いところにある茶屋。特にたくさん茶屋が集まったところは間の宿とも呼ばれた。



19 十念寺  
浄土真宗本願寺派。江戸時代には境内も広く、休泊を引き受けた。県指定文化財「金地着色祭礼図屏風」などがある。



22 標柱  
寛政12年（1800）に建立。「善光寺一分身如来」「世話人万屋嘉兵衛」と刻まれている。



18 泡洲崎八幡社  
内の道標  
天保3年（1843）「左ふなばみち」「右きょういせみち」と刻まれている。元は、新町の北端にあったが戦後移築された。



17 光徳寺  
江戸時代には休泊を引き受けた。万古焼の創始者沼波弄山の墓がある。

この部分は  
4ページを  
ご覧下さい

桑名城跡  
約550m



20 寿量寺  
慶長13年（1608）上洛の途中で亡くなった江戸城の障壁画を描いた絵師狩野光信の墓がある。

このあたりは、慶長年間の町割の際、城下の外郭を固めるために計画的に寺院が集められた

かつては角に番所があり、七曲御門があった。  
街道はなくなっている



21 道標  
明治20年に建立の石造道標。「左東海道渡船場道...」「右西京伊勢道...」と刻まれている。神社の道向かいにある。

- 地図内凡例
- 道標類
  - 常夜灯
  - 神社仏閣
  - 地藏類
  - その他
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停

## (2) 縄生

(桑名市安永～朝日町小向)



しぐれはまぐり・焼き蛤  
「桑名の殿様しぐれで茶々漬」「その手は桑名の焼き蛤」と歌や駄洒落にも登場する桑名の蛤は、江戸時代からの名物。桑名の蛤は身が大きく甘みがあり、昔は「浜の栗」とも呼ばれたとか。しぐれはまぐりはおみやげにもぴったり。



37 伊勢両宮常夜燈  
旧堤防にある。文政元年(1818)建立。



36 石造里程標  
常夜灯のそば。明治26年建立。「従町屋川中央北桑名郡」「距三重県庁舎拾一里 町余」と刻まれている。



38 楠の大木  
町屋川のほとりにある。樹齢二百年以上。しめ縄がかけてある。



35 安永餅店「玉喜」  
かつては街道の名物安永餅を売っていた。現在、料理店及び旅館として営業。旧館には「安永餅」の看板や「御馬口御洗水」の木札、餅を作っていた頃の竈などが残る。樹齢約二百数十年の藤の棚があり、この下で馬が休息したという。



32 城南神社  
伊勢神宮と縁が深く、遷宮ごとに内宮の一の鳥居を下げられている。



33 蓮子格子の家



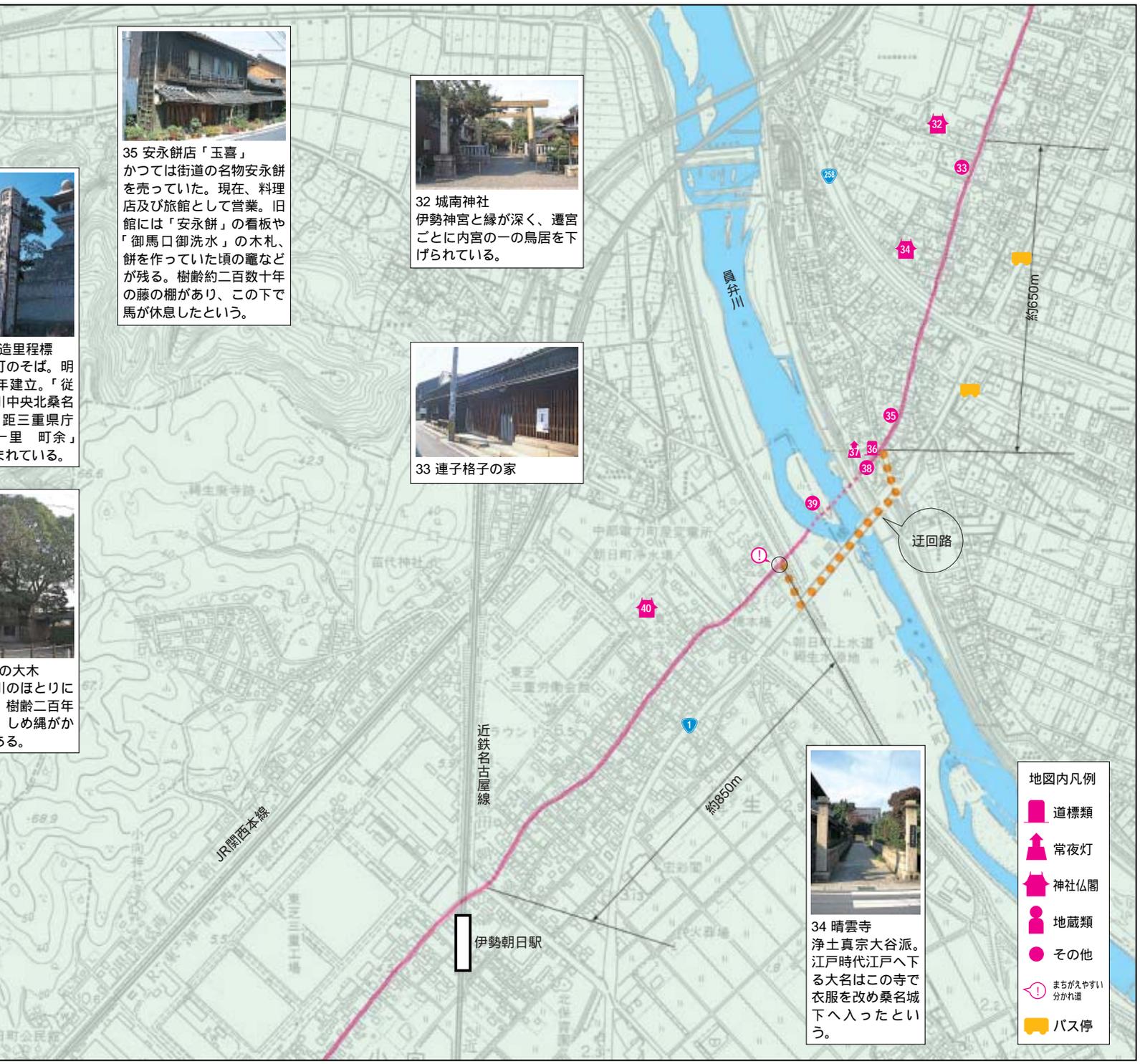
34 晴雲寺  
浄土真宗大谷派。江戸時代江戸へ下る大名はこの寺で衣服を改め桑名城下へ入ったという。



40 真光寺  
浄土真宗本願寺派。境内には桑名藩主松平定重が万治3年(1660)に寄進した大手水鉢がある。



39 町屋橋跡  
国道にかかる現在の町屋橋のわずかに上流のあたりに古い橋脚が2～3本残る。江戸時代の橋は、川の中州を利用して大小二つに分かれていた。



地図内凡例

- 道標類
- 常夜灯
- 神社仏閣
- 地藏類
- その他
- まちがえやすい分かれ道
- バス停

# (3)柿

(朝日町小向～四日市市松寺)



42 西光寺  
真宗大谷派



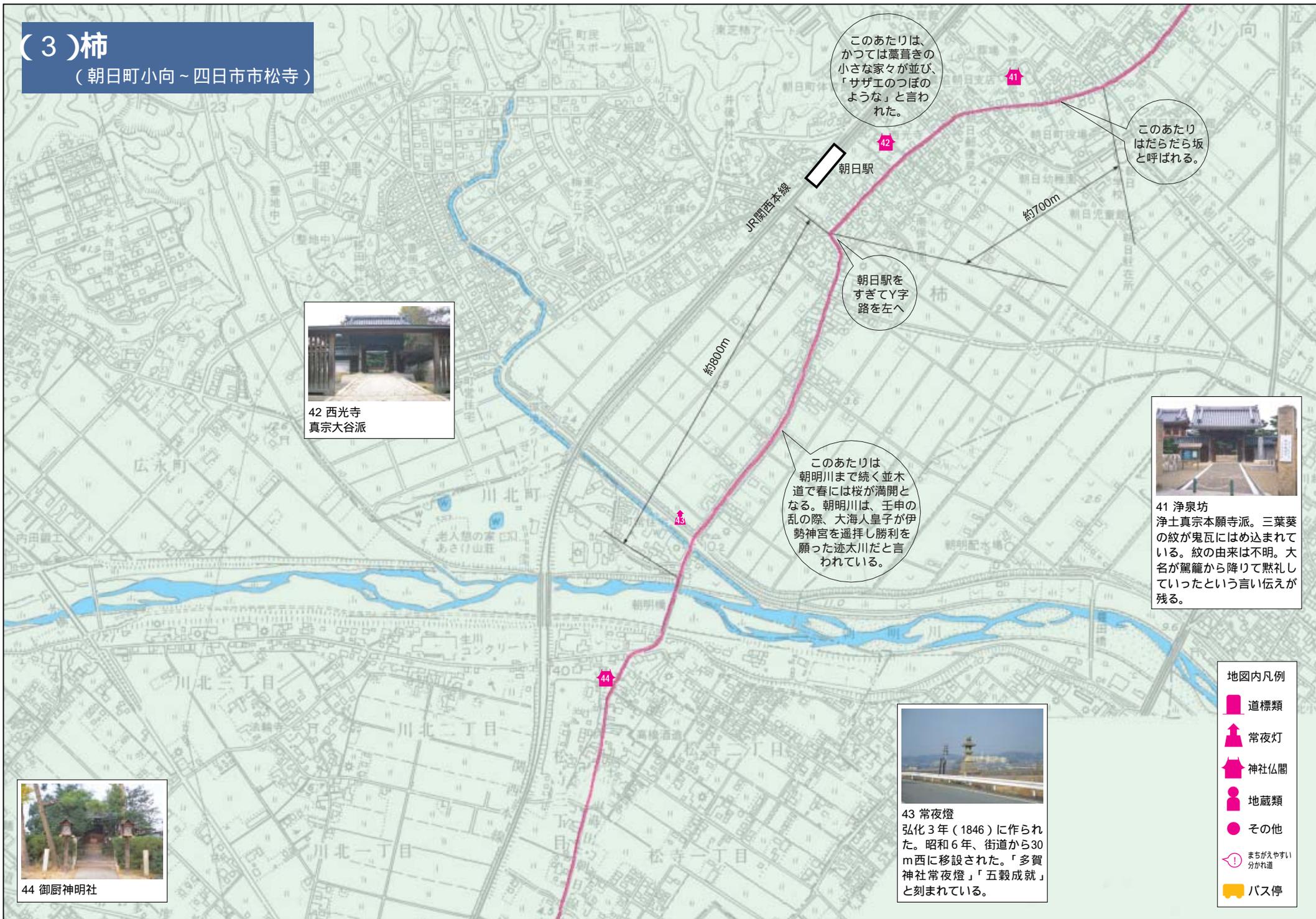
44 御厨神明社



43 常夜燈  
弘化3年(1846)に作られた。昭和6年、街道から30m西に移設された。「多賀神社常夜燈」「五穀成就」と刻まれている。



41 浄泉坊  
浄土真宗本願寺派。三葉葵の紋が鬼瓦にはめ込まれている。紋の由来は不明。大名が駕籠から降りて黙礼していったという言い伝えが残る。



- 地図内凡例
- 道標類
  - ▲ 常夜灯
  - ⬆ 神社仏閣
  - 地藏類
  - その他
  - ! まちがえやすい分かれ道
  - バス停